

2021年4月

参加者各位

公益財団法人 日本生産性本部
経営アカデミー

『マネジメント・ケイパビリティ養成コース』－開講のご案内－

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度は標記研修へご参加くださいます、厚くお礼申し上げます。

さて当コース第1セッションを6月4日（金）5日（土）の2日間にわたり開催いたします。
当コースの受講にあたりまして、参加者の皆様に事前準備をお願いしております。また、オンラインでの受講を希望される方は別途お申込みをお願いいたします。詳細は同封書類をご参照ください。

開講当日（6月4日）は講義の前に、簡単なオリエンテーションを実施いたしますので、

9：30までにご集合願います（9：45講義開始予定）。

その他、ご不明な点等ございましたら下記連絡先までお問い合わせください。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

敬具

記

[同封資料]

1. ー開講のご案内（本状）ー
2. ーマネジメント・ケイパビリティ養成コース 受講の流れー
3. ー第1セッション・事前準備のお願い／ケース研究についてー
4. ー会場：経営アカデミーへの交通アクセスご案内ー
5. ーオンライン受講のご案内／研修参加誓約書ー
6. ー第1セッション・事前課題ー
ー課題書籍ー
7. 『企業戦略論【上】基本編』 ジェイ・B・バーニー著 ダイアモンド社
8. 『マーケティング戦略（第5版）』 和田・恩蔵・三浦著 有斐閣アルマ
9. 『会計マネジメント』 檜作 昌史著 中央経済社

*当日は送付した資料と事前課題（自分用と提出用の2部）、筆記用具をご持参ください。

*第1セッションでテキストとして必要な書籍は『企業戦略論【上】基本編』のみです。

本件担当：公益財団法人 日本生産性本部 経営アカデミー

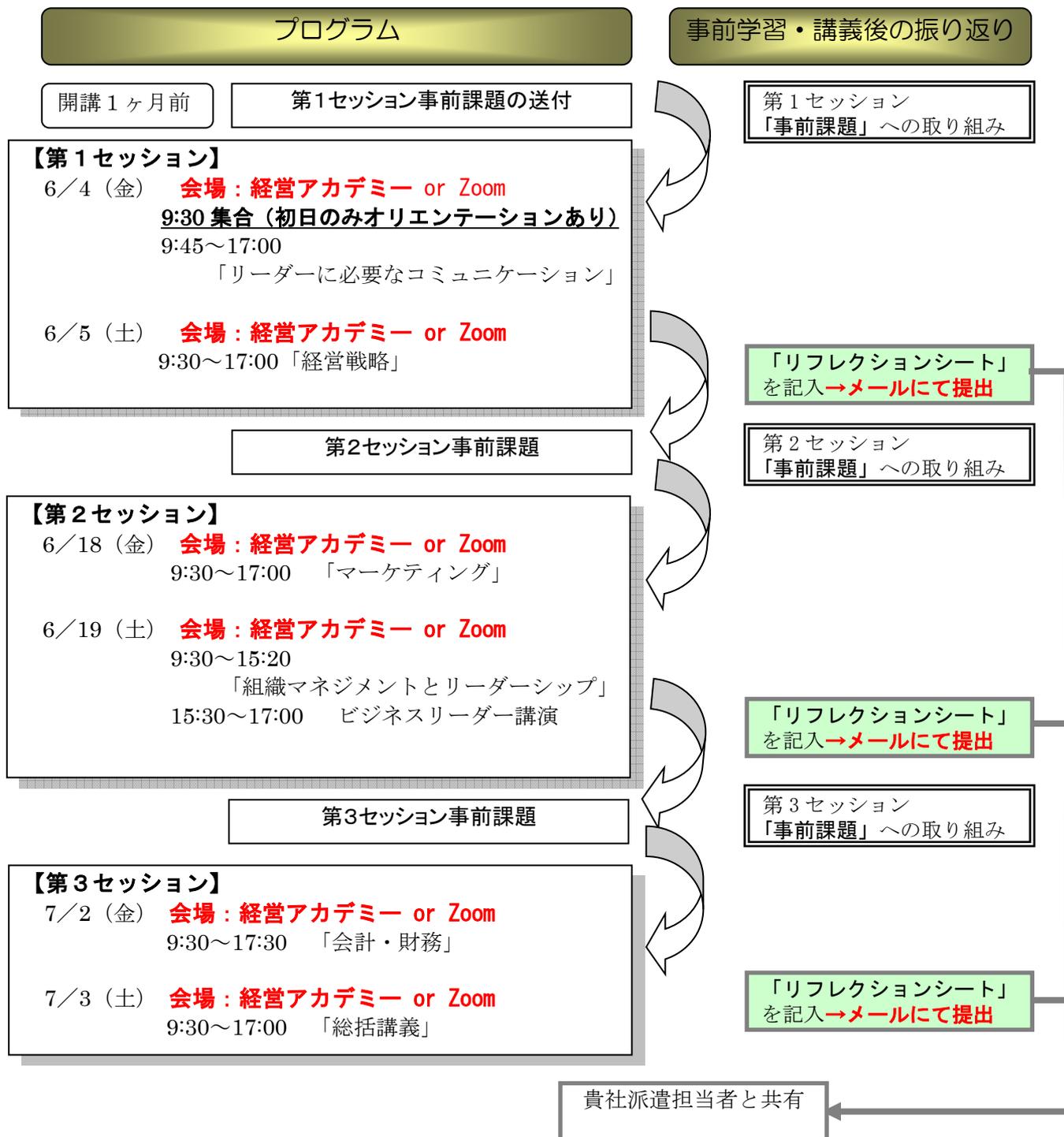
「Management Capability 養成コース」事務局：衛藤^{えとう}・金久^{かねひさ}

TEL：03-5221-8455 FAX：03-5221-8479

e-mail: mc_yousei@jpc-net.jp



マネジメント・ケイパビリティ養成コース 受講の流れ



- 緊急事態宣言中や新型コロナウイルス感染状況によっては、全員オンライン受講に切り替える場合がございます。
- 業務都合、体調不良などによりやむを得ずご欠席の場合、翌期の同講義をオブザーブ（オンラインまたは教室後方にて傍聴）することが可能です。ご欠席の場合は必ず事前にご連絡ください。（教室が満席の場合は、オンラインでのオブザーブとなります。）

ー第1セッション・事前準備のお願いー

講義はケース・メソッドを使用しながら行います。

以下の事項を準備の上、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

■ 6月4日（金）「リーダーに必要なコミュニケーション」事前準備

事前課題はありません。

■ 6月5日（土）「経営戦略」事前準備

同封の事前課題をご準備ください。

□それぞれの設問に対する自分なりの回答を用意してください。

※回答は、4日（金）に提出ください。※自分用と提出用の2部用意ください。

※オンラインで受講される方は、3日（木）までにメールにてご提出ください。

※回答用のフォーマットファイルをメールにてお送りいたします。

□当日の理解を深めるため、課題図書『企業戦略論【上】基本編』第1章と第5章を通読して講義に臨んでください。

●その他

* リフレクションシート

毎回、講義で学んだことを職場で活かしていただくために、「リフレクションシート」という事後課題に取り組んでいただきます。各セッションのリフレクションシートはコース終了後に貴社の派遣責任者様にもご提示いたします。詳細は、開講時にご案内いたします。

* 事前課題にあたっての留意事項

研修はケースを十分に読み込んでいることを前提に行います。グループ討議やクラス討議で発言できるようご準備をお願いいたします。後掲の「ケース・メソッド（ケース研究）について」をご一読いただき、参考にしてください。

ケース研究について

ケースとは、企業およびその他の組織における実例を記述したものです。ケース研究はケースを読み込み、経営戦略論、組織論等をベースに、記述されている事実に含まれたさまざまなキーファクターを引き出し整理して、自分がそのケースの当事者であれば、どのように分析・判断するか、どのような戦略をとるかという視点で、設問に対する自らの論理を構築していくものです。

ケース研究は、次の3つのステップを踏んで行います。

(1) 個人研究

各人がケースを深く読み込み、自らが培ってきた知識やビジネスセオリーを総動員して、問題点、重要点を把握・分析し、設問に対する答えを論理的に整理しておきます。

(2) グループ討議

少人数のグループで、各人が自らの論理を出し合い、議論を行います。これは各人が自分の分析や戦略思考の甘さ、論理展開の不備などに気づくためのものであり、真剣な議論がなされなければ意味がありません。ただし、この議論はディベートではありませんので、相手の優れていると思われる分析や論理は積極的に取り入れ、あるいは便乗しながら論理を展開し、思考を深めます。

経営に正解はありませんので、「なるほど、なるほど」ではなく、最適解は何かを徹底的に議論することが重要です。

(3) クラス討議

上記(1)、(2)を踏まえて、講師の進行で議論を進め、ケースをさらに多角的に分析し、本質に迫っていきます。

ケース研究は、組織活動の実際と理論を摺り合わせることによる、分析、洞察、戦略構想のための思考訓練です。

ーオンライン受講のご案内ー

Zoom を使用しオンラインで受講いただくことも可能です。オンラインでの受講を希望される方は、次ページの「オンライン受講誓約書」に署名の上、メールにて返送ください。オンライン参加の方には事前の配信テストにご参加頂きます。

【オンライン受講申し込み方法】

次ページ以降の「オンライン受講誓約書」及び「研修参加誓約事項」を確認の上、次ページ「オンライン受講誓約書」に署名いただき、スキャンしたファイルをメールにて、参加者ご本人より返送ください。スキャンできない場合は、書面の写真をメールにて送付ください。

※申込み期限：5月17日（月） ※メール送付先： mc_yousei@jpc-net.jp

【オンライン受講申込み後の流れ】

1. 申込受領後（誓約書受領後）、オンライン受講に際し、詳細情報を送付します。
2. 事前に、Zoom での接続確認、操作確認に参加いただきます。（30分程度）
接続確認開催日（下記いずれか1日程にご参加ください）：
 - ・5月25日（火）10:00～10:30
 - ・5月26日（水）15:00～15:30参加日程については、オンライン受講詳細情報の送付時にご確認いたします。
3. 前日までに、講義テキストを送付いたします（資料ファイルをメールにて送付、あるいは著作権や講義内容の関係で印刷物の郵送となる場合があります）。
4. 前日までに Zoom 接続情報をメールします。
5. **事前課題がある場合は、前日までにメールにて提出ください。**
6. 当日は各講義の開始15分前より接続いただけます。

【注意事項】

オンラインにて受講される場合は、全日程オンライン受講となりますので、ご了承ください。研修運営上、原則として途中で教室受講への変更はできません。また、オンライン受講に伴う昼食代の返金はございません。緊急事態宣言中や新型コロナウイルス感染状況によっては、全員オンラインでの受講に切り替える場合がございます。

以上

研修参加誓約書

私は、公益財団法人日本生産性本部『マネジメント・ケイパビリティ養成コース』の参加に際し、裏面の研修参加誓約事項を了承するとともに遵守し、コースプログラム内で提供されたいかなる著作物の著作権を侵害しないことを約束する。

本誓約においての著作物とは、講義内の講義資料、講師の口頭による解説および参加者同士の口頭での議論内容等すべての情報であって、以下の範囲に及ぶ。

1. 講義資料（配布資料、投影資料）
2. 講師の口頭による解説
3. 他参加者の発言・議論内容
4. その他コースプログラム内で提供を受け又は知得した一切の資料および情報

著作権の侵害とは、下記の行為を指す。

1. 著作物の録音
2. 著作物の録画
3. 著作物の二次利用（著作物の複製、電子媒体への取り込み、コースプログラム内で知り得た機密事項について、口頭を含む他者へのいかなる方法の伝送も禁止とする）

但し、以下の情報には適用されない。

1. 公知の情報。ただし、本誓約違反または守秘義務をもつ第三者による契約違反によるものを除く。

著作物の著作権の侵害が認められた場合、私は、日本生産性本部が私の所属企業の派遣責任者に著作権の侵害行為を報告し、コースプログラムの参加禁止の措置を取ることを承諾する。

本誓約は、コース終了後も有効に存続するものとし、著作権侵害をした場合は、法的措置を受ける。

2021年 月 日

会社名 _____
部署名 _____
署名 _____

研修参加誓約事項

- ①講義内で使用する資料・電子ファイルの無断転用はしません。
- ②講義内容を録画、録音はしません。
- ③研修には、許可された者のみが参加します。
- ④参加者ごとに付与される ID、パスワードの適切な管理に努め、他者との共有はしません。
- ⑤オンライン受講の場合、受講場所は、研修に集中でき他者に情報がもれない環境を確保します（大勢が業務をしている執務室やカフェなどでは受講しません）。
- ⑥オンライン受講の場合、派遣元企業や参加者の費用と責任において受講に必要な PC・デバイスなどの設備一式や十分な帯域とセキュリティが確保されたネットワーク環境を確保し、使用します（フリーの WiFi など暗号化されていないネットワークは使用しません）。
- ⑦上記①から⑥の誓約事項（上記環境の確保・使用を含む）が守られなかった場合、以降の研修・セミナー参加許可は取り消され、受講料返金や補償はありません。
- ⑧主催者側の障害や瑕疵以外の理由で研修・セミナーの一部または全部を受講できなかった場合、受講料返金や補償はありません。
- ⑨研修に利用する第三者のオンライン会議の使用により派遣元企業や参加者が損害（個人情報や企業秘密の漏洩等を含むがこれらに限らない）を被った場合であっても、主催者側は当該損害について一切の責任を負いません。ただし、主催者側に故意又は重大な過失がある場合を除きます。
- ⑩何らかの原因で研修・セミナーが中止となった場合、代替講義の提供または受講料の返金以上の補償はありません。
- ⑪上記誓約事項等のすべてを遵守・了承した上で、研修に参加します。